

鶴ヶ島市の学校教育に関する アンケート調査結果

平成29年（2017年）1月

鶴ヶ島市教育委員会

1 調査の概要

(1) 目的

少子高齢化が進展する中、少子化が教育に与える影響を考慮し、時代の変化に対応した教育環境を整備するために、鶴ヶ島市の望ましい学校教育のあり方や学校規模について、保護者及び教員の意見を把握するためアンケート調査を実施するものです。

(2) 実施時期

平成28年6月22日（水）～平成28年7月6日（水）

(3) 対象

市内小・中学校全保護者及び県費負担教員（校長、教頭除く）

(4) 調査方法

①児童・生徒保護者アンケート

- ・無記名で回答してもらう。
- ・学校にて児童・生徒を通じて配布、回収する。保護者の意見を把握する趣旨から、配布は家庭数とし、小・中学校ごとに兄弟姉妹がいる場合、調査票は1枚のみの配布（世帯で1枚）とし、配布した学年で集計することとする。
- ・回収の際は回収用封筒に入れて担任に提出させ、学年別にとりまとめ、学校ごとに教育総務課に提出してもらう。

②県費負担教員アンケート

- ・無記名で回答してもらう。
- ・学校ごとに配布し、教員用アンケート回収袋にて回収のうえ、学校ごとに教育総務課に提出してもらう。

(5) 調査票

別紙のとおり

(6) 配布及び回収状況

		保護者	県費教員（校長・教頭除く）	合計	備考
小学校	配布数	2, 838世帯	181人	3, 019	
	回収数	2, 414世帯	168人	2, 582	
	回収率	85.060%	92.818%	85.525%	
中学校	配布数	1, 803世帯	117人	1, 920	
	回収数	1, 364世帯	102人	1, 466	
	回収率	75.652%	87.180%	76.354%	
合計	配布数	4, 641世帯	298人	4, 939	
	回収数	3, 778世帯	270人	4, 048	
	回収率	81.405%	90.604%	81.960%	

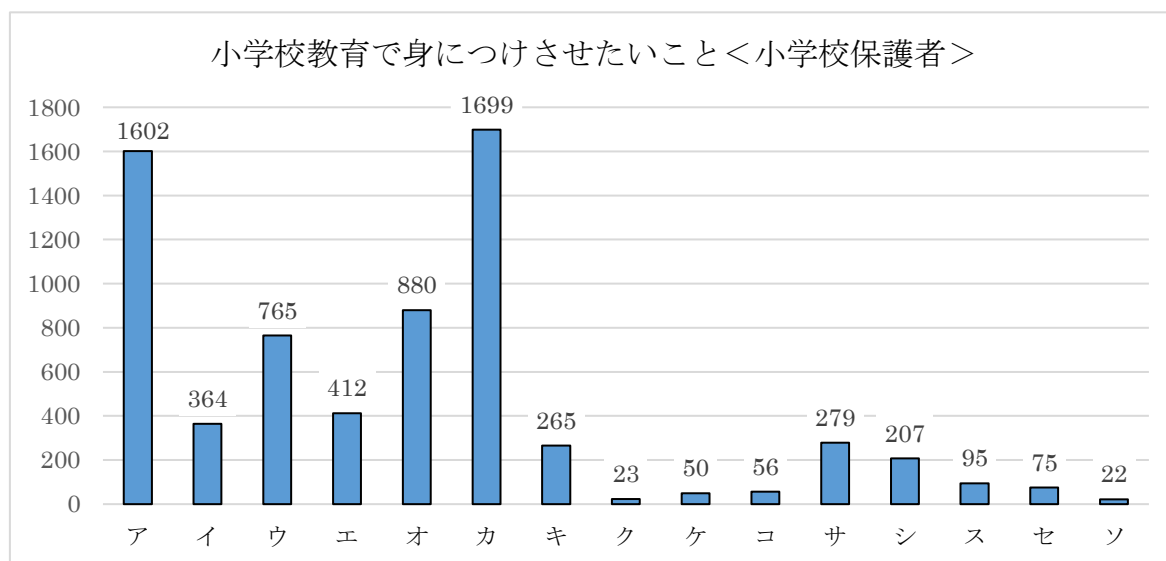
2 調査結果

- (1) **問2** 学校教育の中で、特に身に付けさせたいこと（選択式・3つまで）（教員のアンケートでは問1）

選択肢（全対象者共通）
ア. 基礎的な知識・技能
イ. 自ら課題を見つける力
ウ. 何事にも主体的に取り組む態度
エ. よりよく問題を解決する資質や能力
オ. 規則正しい生活などの基本的な生活習慣
カ. 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
キ. 社会の一員としての公共の精神
ク. 鶴ヶ島の歴史、文化、伝統を尊重する態度
ケ. 地域に親しみ、地域の発展に貢献する態度
コ. 多文化・異文化を尊重する態度
サ. 健康の保持増進と体力
シ. ノーマライゼーションの理念に基づき、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう態度
ス. 情報モラルを身に付け、主体的にICT（情報通信技術）を活用して情報を適切に扱える能力
セ. 働くことについての関心や意欲を高めるための基礎的な職業知識
ソ. その他

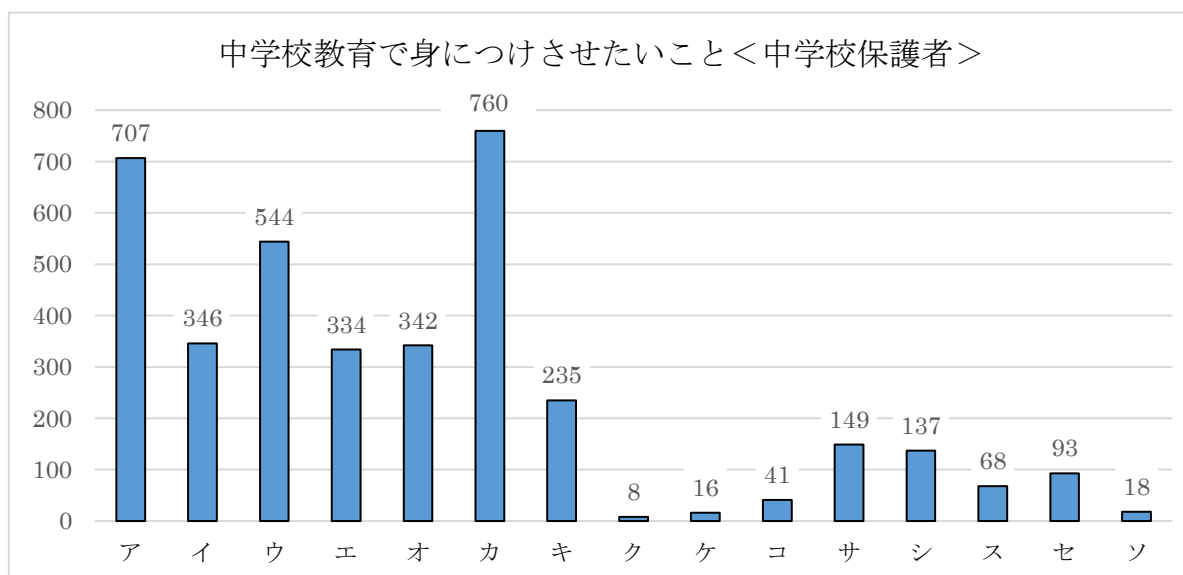
◆小学校保護者

小学校保護者の回答は、回答数の多い項目順に「カ 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」、「ア 基礎的な知識・技能」、「オ 規則正しい生活などの基本的な生活習慣」の順でした。



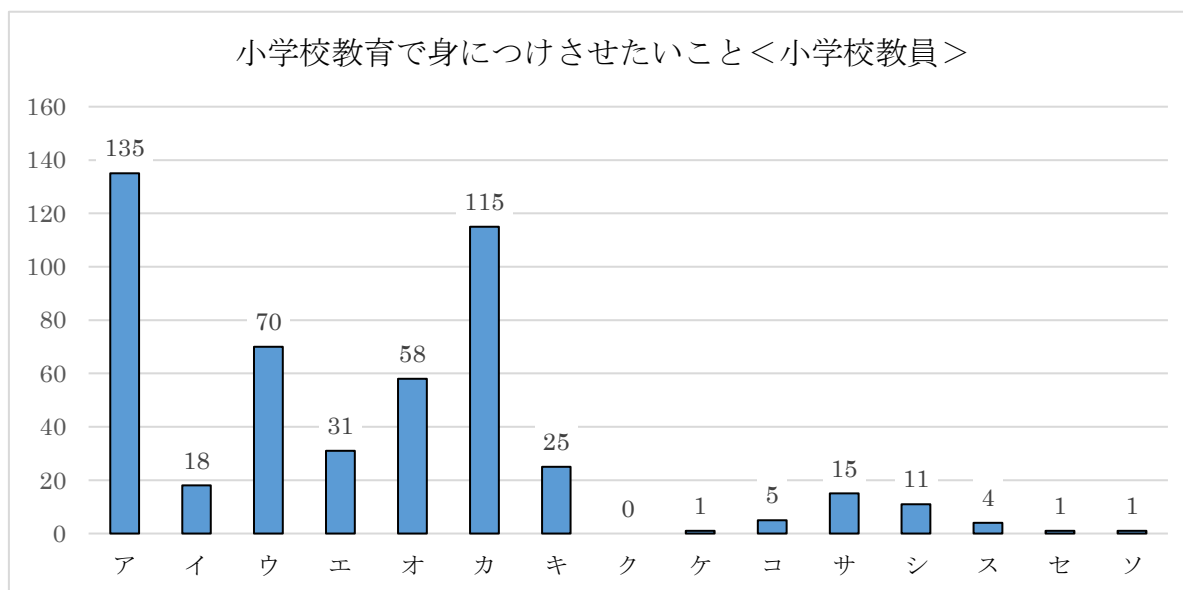
◆中学校保護者

中学校保護者の回答は、回答数の多い項目順に「カ 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」、「ア 基礎的な知識・技能」、「ウ 何事にも主体的に取り組む態度」の順でした。



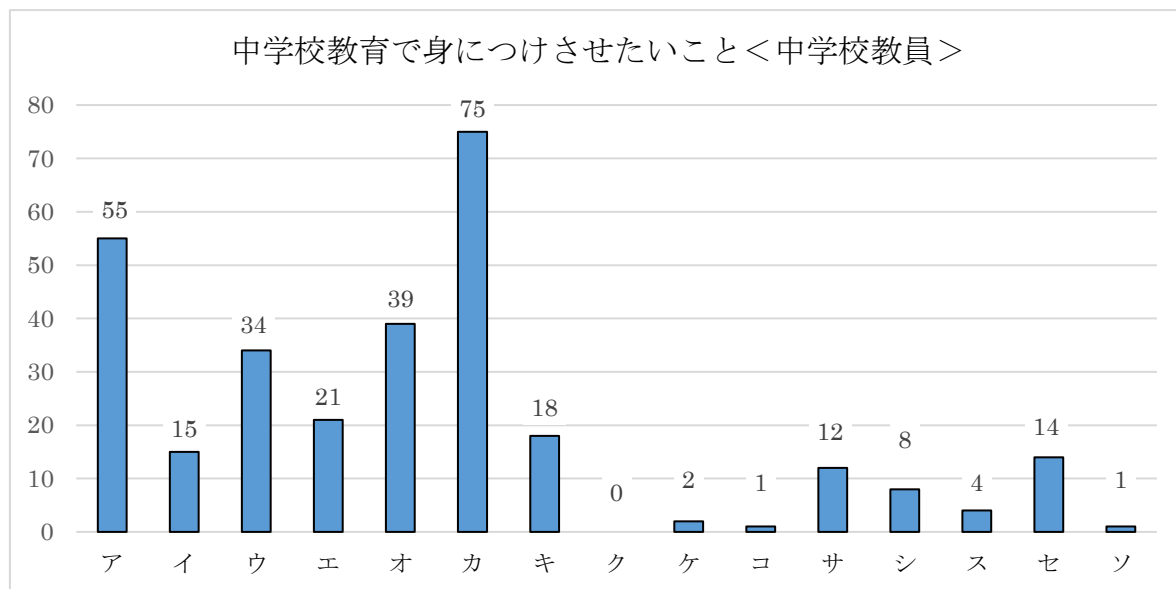
◆小学校教員

小学校教員の回答は、回答数の多い項目順に「ア 基礎的な知識・技能」、次いで「カ 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」、「ウ 何事にも主体的に取り組む態度」の順でした。



◆中学校教員

中学校教員の回答は、回答数の多い項目順に「カ 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」、次いで「ア 基礎的な知識・技能」、「オ 規則正しい生活などの基本的な生活習慣」の順でした。



◆その他の意見

選択肢の「ソ その他」を選択した保護者は40世帯（小学校22世帯、中学校18世帯）で、全員がその内容を記入していましたが、記入内容は様々でした。また、ソを選択した教員は2人（小学校1人、中学校1人）でした。

・保護者の主な意見

自分の好きな事などの個性を伸ばす教育 3世帯（小学校3世帯）

コミュニケーション力 3世帯（小学校1世帯・中学校2世帯）

・教員の意見

自律的な精神や行動 1人（小学校1人）

困難と向き合い、逃げずに乗り越える力 1人（中学校1人）

◆分析

・保護者アンケート回収3,778世帯（小学校保護者2,414世帯・中学校保護者1,364世帯）のうち、問2の有効回答数は3,599世帯（小学校保護者2,298世帯・中学校保護者1,301世帯）で、有効回答率は約95.3%（小学校保護者約95.2%・中学校保護者約95.4%）でした。

・教員アンケート回収270人（小学校教員168人・中学校教員102人）のうち、問1の有効回答数は266人（小学校教員165人・中学校教員101人）で、有効回答率は約98.5%（小学校教員約98.2%・中学校教員約99.0%）でした。

・保護者アンケート調査の結果では、学校教育の中で特に身に付けさせたいものとして、小学校、中学校ともに、「カ 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな

人間性」と「ア 基礎的な知識・技能」の学力面を多く回答しており、こうした事を学校教育に求めていると考えられます。

- ・次に多い回答として、小学校では「オ 規則正しい生活などの基本的な生活習慣」、中学校では「ウ 何事にも主体的に取り組む態度」となっています。
- ・この結果から、保護者は、小学校では学力面や生活面、人間性など社会に出て行くための基礎・基本をしっかり身につけ、中学校では、学力面や人間性、社会性などにおいて、社会に積極的に関わっていくことができる態度を身につけることを望んでいると考えられます。
- ・教員アンケート調査の結果でも、小学校、中学校ともに、「ア 基礎的な知識・技能」の学力面と「カ 他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」を多く回答しています。
- ・また、小学校教員の3番目に回答が多かった「ウ 何事にも主体的に取り組む態度」については、4番目に回答が多かった「オ 規則正しい生活などの基本的な生活習慣」と回答数は拮抗しています。中学校教員についても、3番目に回答が多かった「オ 規則正しい生活などの基本的な生活習慣」は、4番目に回答が多かった「ウ 何事にも主体的に取り組む態度」と回答数に大差はなく、児童・生徒の保護者と小・中学校の教員は、学校教育に関してほぼ同じ考えをもっていると考えられます。

(2) **問3** 問2（教員のアンケートでは問1）の選択肢を選んだ理由（記述式 ※）

※この記述式回答集計については、記述に複数の内容が含まれている場合、重複して集計しています。

◆保護者

学校教育の中で身に付けさせたいこととして選択肢を選んだ理由について、記述回答した保護者は、小学校578世帯、中学校243世帯、合計821世帯、教員は、小学校49人、中学校38人、合計87人でした。

保護者の全記述回答を「どういう視点で記述回答しているか」という分類で大別すると、『基礎・基本を身に付けてほしい』（小学校保護者167世帯・中学校保護者30世帯・合計197世帯）、『学校という集団生活の中で身に付けてほしい』（小学校保護者101世帯・中学校保護者13世帯・合計114世帯）、『社会に出て必要だから身に付けてほしい』（小学校保護者42世帯・中学校保護者25世帯・合計67世帯）という視点が多くなっており、選択肢ごとの回答理由の集計でも多くなっていきます。

また、教員の全記述回答を「どういう視点で記述回答しているか」という分類で大別すると、『基礎・基本を身に付けてほしい』（小学校教員22人・中学校教員12人・合計34人）、『社会に出て必要だから身に付けてほしい』（小学校教員9人・中学校教員6人・合計15人）という視点が多くなっており、選択肢ごとの回答理由の集計でも多くなっていきます。

▼ア（基礎的な知識・技能）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でアを回答した小学校保護者は1,602世帯で、このうちアを選択した理由を記述回答した保護者は、209世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（136世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（25世帯）

中学校保護者

- ・問2でアを回答した中学校保護者は707世帯で、このうちアを選択した理由を記述回答した保護者は、56世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（19世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（14世帯）

小学校教員

- ・問1でアを回答した小学校教員は135人で、このうちアを選択した理由を記述回答した教員は、27人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（12人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（4人）

中学校教員

- ・問1でアを回答した中学校教員は55人で、このうちアを選択した理由を記述回答した教員は、15人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（9人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（3人）

▼イ（自ら課題を見つける力）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でイを回答した小学校保護者は364世帯で、このうちイを選択した理由を記述回答した保護者は、51世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
自ら考えて行動できるようになってほしい（13世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（6世帯）

中学校保護者

- ・問2でイを回答した中学校保護者は346世帯で、このうちイを選択した理由を記述回答した保護者は、40世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
自ら考えて行動できるようになってほしい（10世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（9世帯）

小学校教員

- ・問1でイを回答した小学校教員は18人で、このうちイを選択した理由を記述回答した教員は、5人でした。
- ・理由として多かった回答内容

社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

中学校教員

- ・問1でイを回答した中学校教員は15人で、このうちイを選択した理由を記述回答した教員は、4人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（2人）

▼ウ（何事にも主体的に取り組む態度）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でウを回答した小学校保護者は765世帯で、このうちウを選択した理由を記述回答した保護者は、85世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（16世帯）
基礎・基本だから身に付けてほしい（16世帯）

中学校保護者

- ・問2でウを回答した中学校保護者は544世帯で、このうちウを選択した理由を記述回答した保護者は、50世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
自ら考えて行動できるようになってほしい（11世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（11世帯）

小学校教員

- ・問1でウを回答した小学校教員は70人で、このうちウを選択した理由を記述回答した教員は、15人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（4人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

中学校教員

- ・問1でウを回答した中学校教員は34人で、このうちウを選択した理由を記述回答した教員は、6人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（2人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

▼エ（よりよく問題を解決する資質や能力）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でエを回答した小学校保護者は412世帯で、このうちエを選択した理由を記述回答した保護者は、43世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（11世帯）
基礎・基本だから身に付けてほしい（8世帯）

中学校保護者

- ・問2でエを回答した中学校保護者は334世帯で、このうちエを選択した理由を記述回答した保護者は、29世帯でした。

- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（8世帯）
基礎・基本だから身に付けてほしい（6世帯）

小学校教員

- ・問1でエを回答した小学校教員は31人で、このうちエを選択した理由を記述回答した教員は、8人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（3人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

中学校教員

- ・問1でエを回答した中学校教員は21人で、このうちエを選択した理由を記述回答した教員は、3人でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

▼オ（規則正しい生活などの基本的な生活習慣）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でオを回答した小学校保護者は880世帯で、このうちオを選択した理由を記述回答した保護者は、118世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（71世帯）
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（16世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（16世帯）

中学校保護者

- ・問2でオを回答した中学校保護者は342世帯で、このうちオを選択した理由を記述回答した保護者は、29世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（9世帯）
基礎・基本だから身に付けてほしい（6世帯）

小学校教員

- ・問1でオを回答した小学校教員は58人で、このうちオを選択した理由を記述回答した教員は、16人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（10人）

中学校教員

- ・問1でオを回答した中学校教員は39人で、このうちオを選択した理由を記述回答した教員は、13人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（5人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

▼カ（他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でカを回答した小学校保護者は1,699世帯で、このうちカを選択した理由を記述回答した保護者は、290世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（75世帯）
基礎・基本だから身に付けてほしい（71世帯）

中学校保護者

- ・問2でカを回答した中学校保護者は760世帯で、このうちカを選択した理由を記述回答した保護者は、97世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（21世帯）
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（13世帯）

小学校教員

- ・問1でカを回答した小学校教員は115人で、このうちカを選択した理由を記述回答した教員は、20人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（9人）
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（3人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（3人）

中学校教員

- ・問1でカを回答した中学校教員は75人で、このうちカを選択した理由を記述回答した教員は、18人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（5人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（3人）

▼キ（社会の一員としての公共の精神）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でキを回答した小学校保護者は265世帯で、このうちキを選択した理由を記述回答した保護者は、42世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（25世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（10世帯）

中学校保護者

- ・問2でキを回答した中学校保護者は235世帯で、このうちキを選択した理由を記述回答した保護者は、20世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（13世帯）
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（4世帯）

小学校教員

- ・問1でキを回答した小学校教員は25人で、このうちキを選択した理由を記述回答した教員は、7人でした。

- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（3人）
基礎・基本だから身に付けてほしい（2人）

中学校教員

- ・問1でキを回答した中学校教員は18人で、このうちキを選択した理由を記述回答した教員は、2人でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

▼ク（鶴ヶ島の歴史、文化、伝統を尊重する態度）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でクを回答した小学校保護者は23世帯で、このうちクを選択した理由を記述回答した保護者は、5世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
ふるさととして鶴ヶ島に愛着、誇りを持ってほしい（4世帯）

中学校保護者

- ・問2でクを回答した中学校保護者は8世帯で、このうちクを選択した理由を記述回答した保護者は、3世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

教員

- ・問1でクを回答した小学校及び中学校教員はいませんでした。

▼ケ（地域に親しみ、地域の発展に貢献する態度）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でケを回答した小学校保護者は50世帯で、このうちケを選択した理由を記述回答した保護者は、10世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（2世帯）

中学校保護者

- ・問2でケを回答した中学校保護者は16世帯で、このうちケを選択した理由を記述回答した保護者は、1世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

小学校教員

- ・問1でケを回答した小学校教員は1人で、このうちキを選択した理由を記述回答した教員は、0人でした。

中学校教員

- ・問1でケを回答した中学校教員は2人で、このうちケを選択した理由を記述回答した教員は、0人でした。

▼コ（多文化・異文化を尊重する態度）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でコを回答した小学校保護者は56世帯で、このうちコを選択した理由を記述回答した保護者は、13世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
様々な人や考えに触れて、広い視野と広い心を養ってほしい（2世帯）

中学校保護者

- ・問2でコを回答した中学校保護者は41世帯で、このうちコを選択した理由を記述回答した保護者は、5世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

小学校教員

- ・問1でコを回答した小学校教員は5人で、このうちコを選択した理由を記述回答した教員は、1人でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

中学校教員

- ・問1でコを回答した中学校教員は1人で、このうちコを選択した理由を記述回答した教員は、0人でした。

▼サ（健康の保持増進と体力）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でサを回答した小学校保護者は279世帯で、このうちサを選択した理由を記述回答した保護者は、47世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（25世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（10世帯）

中学校保護者

- ・問2でサを回答した中学校保護者は、149世帯で、このうちサを選択した理由を記述回答した保護者は、14世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（3世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（3世帯）

小学校教員

- ・問1でサを回答した小学校教員は15人で、このうちサを選択した理由を記述回答した教員は、4人でした。
- ・理由として多かった回答内容
基礎・基本だから身に付けてほしい（2人）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

中学校教員

- ・問1でサを回答した中学校教員は12人で、このうちサを選択した理由を記述回答した教員は、3人でした。
特になし

▼シ（ノーマライゼーションの理念に基づき、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう態度）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でシを回答した小学校保護者は207世帯で、このうちシを選択した理由を記述回答した保護者は、50世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（20世帯）
社会に出て必要だから身に付けてほしい（6世帯）

中学校保護者

- ・問2でシを回答した中学校保護者は137世帯で、このうちシを選択した理由を記述回答した保護者は、17世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（5世帯）
学校という集団生活の中で身に付けてほしい（2世帯）

小学校教員

- ・問1でシを回答した小学校教員は11人で、このうちシを選択した理由を記述回答した教員は、3人でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

中学校教員

- ・問1でシを回答した中学校教員は8人で、このうちシを選択した理由を記述回答した教員は、1人でした。
- ・理由として多かった回答内容
特になし

▼ス（情報モラルを身に付け、主体的にICT（情報通信技術）を活用して情報を適切に扱える能力）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でスを回答した小学校保護者は95世帯で、このうちスを選択した理由を記述回答した保護者は、7世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
情報化社会に適切に対応するために、仕事上も生活上も必要なため身に付けてほしい（4世帯）

中学校保護者

- ・問2でスを回答した中学校保護者は68世帯で、このうちスを選択した理由を記述回答した保護者は、8世帯でした。
- ・理由として多かった回答内容
情報化社会に適切に対応するために、仕事上も生活上も必要なため身に付けてほしい（8世帯）

小学校教員

- ・問1でスを回答した小学校教員は4人で、このうちスを選択した理由を記述回答した教員は、2人でした。
- ・理由として多かった回答内容
社会に出て必要だから身に付けてほしい（2人）

中学校教員

- ・問1でセを回答した中学校教員は4人で、このうちセを選択した理由を記述回答した教員は、1人でした。

特になし

▼セ（働くことについての関心や意欲を高めるための基礎的な職業知識）を選んだ理由

小学校保護者

- ・問2でセを回答した小学校保護者は75世帯で、このうちセを選択した理由を記述回答した保護者は、13世帯でした。

- ・理由として多かった回答内容

なぜ働くのか、何故勉強するのか理解し、将来の職業について今から考えて欲しい。(4世帯)

中学校保護者

- ・問2でセを回答した中学校保護者は93世帯で、このうちセを選択した理由を記述回答した保護者は、13世帯でした。

- ・理由として多かった回答内容

なぜ働くのか、何故勉強するのか理解し、将来の職業について今から考えて欲しい。(5世帯)

小学校教員

- ・問1でセを回答した小学校教員は1人で、このうちセを選択した理由を記述回答した教員は、0人でした。

中学校教員

- ・問1でセを回答した中学校教員は14人で、このうちセを選択した理由を記述回答した教員は、4人でした。

特になし

◆分析

- ・保護者アンケートを回収した3,778世帯(小学校保護者2,414世帯・中学校保護者1,364世帯)のうち、821世帯(小学校保護者578世帯・中学校保護者243世帯)が、問2で選択した理由を記述回答しました。記述回答率は約21.7%(小学校保護者約23.9%・中学校保護者約17.8%)です。
- ・教員アンケートを回収した270人(小学校教員168人・中学校教員102人)のうち、87人(小学校教員49人・中学校教員38人)が、問1で選択した理由を記述回答しました。記述回答率は約32.2%(小学校教員約29.2%・中学校教員約37.3%)です。
- ・保護者記述回答の内容全体から、保護者は、今後社会に出て行くための基礎・基本について、他者との関わりの少ない家庭で育むのは難しいため、学校教育という集団生活の中でしっかり身に付けてほしいと考えていると思われます。
- ・教員記述回答の内容全体から、教員は、今後社会に出て行くための基礎・基本について、しっかり身に付けてほしいと考えていると思われます。

- (3) 問4 鶴ヶ島市の子ども達のより良い教育のためには、小学校（中学校）の1学年あたりの学級数は、どのくらいが望ましいと思いますか。（選択式・1つ）（教員のアンケートでは問3）

選択肢（小学校保護者・教員）

- ア. 1学年1学級（1校で6学級）
- イ. 1学年2～3学級（1校で12～18学級）
- ウ. 1学年4～5学級（1校で24～30学級）
- エ. 1学年6学級以上（1校で36学級以上）

選択肢（中学校保護者・教員）

- ア. 1学年1学級（1校で3学級）
- イ. 1学年2～3学級（1校で6～9学級）
- ウ. 1学年4～6学級（1校で12～18学級）
- エ. 1学年7学級以上（1校で21学級以上）

◆小学校回答

	小学校保護者		小学校教員	
	人数	割合	人数	割合
ア. 1学年1学級 （1校で6学級）	32人	1.40%	0人	0%
イ. 1学年2～3学級 （1校で12～18学級）	1,705人	74.62%	124人	83.22%
ウ. 1学年4～5学級 （1校で24～30学級）	537人	23.50%	24人	16.11%
エ. 1学年6学級以上 （1校で36学級以上）	11人	0.48%	1人	0.67%
合計	2,285人	100.00%	149人	100.00%

◆中学校回答

	中学校保護者		中学校教員	
	人数	割合	人数	割合
ア. 1学年1学級 （1校で3学級）	31人	2.43%	0人	0%
イ. 1学年2～3学級 （1校で6～9学級）	408人	31.90%	23人	25.55%
ウ. 1学年4～6学級 （1校で12～18学級）	825人	64.50%	62人	68.89%
エ. 1学年7学級以上 （1校で21学級以上）	15人	1.17%	5人	5.56%
合計	1,279人	100.00%	90人	100.00%

◆分析

- ・保護者アンケート回収3,778世帯(小学校保護者2,414世帯・中学校保護者1,364世帯)のうち、問4の有効回答数は3,564世帯(小学校保護者2,285世帯・中学校保護者1,279世帯)で、有効回答率は約94.3%(小学校保護者約94.7%・中学校保護者約93.8%)でした。
- ・教員アンケート回収270人(小学校教員168人・中学校教員102人)のうち、問3の有効回答数は239人(小学校教員149人・中学校教員90人)で、有効回答率は約88.5%(小学校教員約88.7%・中学校教員約88.2%)でした。
- ・保護者へのアンケート調査の結果では、小学校は1学年2～3学級、中学校は1学年4～6学級が望ましいという回答が過半数を超えています。教員へのアンケート調査の結果についても、小学校は1学年2～3学級、中学校は1学年4～6学級が望ましいという回答が過半数を超えています。
- ・全体では、保護者、教員とも、1校あたりの学級数としては、小・中学校ともに12～18学級が望ましいと考えていることがわかります。これは、学校教育法施行規則(第41条・第79条)に定められている標準学級数と同じになります。

- (3) **問5** 4について、選択した理由を教えてください。(近いと思う記号1つに○)(教員のアンケートでは問4)

選択肢(全対象者共通)

- ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから。
- イ. 学校全体に活気が出るから。
- ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから。
- エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから。
- オ. 学年を越えた友達ができやすいから。
- カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから。(教員アンケートではこの選択肢はなし)
- キ. その他()

◆小学校回答

- 問4にア【1学年1学級（1校で6学級）】を選択（小学校保護者32世帯・小学校教員0人）した理由

	小学校保護者	小学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	11世帯	0人
イ. 学校全体に活気が出るから	2世帯	0人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	4世帯	0人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	6世帯	0人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	1世帯	0人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	2世帯	—
キ. その他	1世帯	0人
合計	27世帯	0人

- ・その他の主な意見
特になし

- 問4にイ【1学年2～3学級（1校で12～18学級）】を選択（小学校保護者1,705世帯・小学校教員124人）した理由

	小学校保護者	小学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	988世帯	81人
イ. 学校全体に活気が出るから	111世帯	11人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	63世帯	11人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	89世帯	7人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	66世帯	3人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	229世帯	—
キ. その他	109世帯	5人
合計	1,655世帯	118人

- ・その他の主な意見
先生が目が行き届くから（小学校保護者44世帯）
学級数ではなく、学級の人数に着目すべき（小学校保護者30世帯・小学校教員7人）
学年全体を把握でき、まとまりやすく、友人を覚えられるから（小学校保護者14世帯）

- 問4にウ【1学年4～5学級（1校で24～30学級）】を選択（小学校保護者537世帯・小学校教員24人）した理由

	小学校保護者	小学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	330世帯	9人
イ. 学校全体に活気が出るから	98世帯	11人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	12世帯	0人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	1世帯	0人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	3世帯	0人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	15世帯	—
キ. その他	52世帯	4人
合計	511世帯	24人

- ・その他の主な意見

先生が目が行き届くから（小学校保護者24世帯）

多くの人間と触れ合い交流できるから（小学校教員3人）

- 問4にエ【1学年6学級以上（1校で36学級以上）】を選択（小学校保護者11世帯・小学校教員1人）した理由

	小学校保護者	小学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	3世帯	1人
イ. 学校全体に活気が出るから	2世帯	0人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	0世帯	0人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	0世帯	0人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	1世帯	0人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	2世帯	—
キ. その他	3世帯	0人
合計	11世帯	1人

- ・その他の主な意見

先生が目が行き届くから（小学校保護者3世帯）

◆中学校回答

- 問4にア【1学年1学級（1校で3学級）】を選択（中学校保護者31世帯・中学校教員0人）した理由

	中学校保護者	中学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	12世帯	0人
イ. 学校全体に活気が出るから	2世帯	0人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	2世帯	0人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	5世帯	0人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	1世帯	0人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	5世帯	—
キ. その他	2世帯	0人
合計	29世帯	0人

- ・その他の主な意見
特になし

- 問4にイ【1学年2～3学級（1校で6～9学級）】を選択（中学校保護者408世帯・中学校教員23人）した理由

	中学校保護者	中学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	210世帯	7人
イ. 学校全体に活気が出るから	33世帯	1人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	16世帯	6人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	23世帯	2人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	19世帯	1人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	71世帯	—
キ. その他	17世帯	3人
合計	389世帯	20人

- ・その他の主な意見
先生が目が行き届くから（中学校保護者6世帯）
生徒一人一人を見ることができるから（中学校教員3人）

- 問4にウ【1学年4～6学級（1校で12～18学級）】を選択（中学校保護者825世帯・中学校教員62人）した理由

	中学校保護者	中学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	482世帯	33人
イ. 学校全体に活気が出るから	176世帯	19人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	29世帯	4人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	5世帯	0人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	2世帯	0人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	54世帯	—
キ. その他	53世帯	4人
合計	801世帯	60人

・その他の主な意見

- 少人数制（20～35人）にして先生にしっかり見てもらいたいから。また、仲間意識を高めてほしいから（中学校保護者17世帯）
 先生が目が行き届くから（中学校保護者15世帯）
 教員の数が適切で、互いに協力できるから（中学校教員2人）

- 問4にエ【1学年7学級以上（1校で21学級以上）】を選択（中学校保護者15世帯・中学校教員5人）した理由

	中学校保護者	中学校教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	8世帯	2人
イ. 学校全体に活気が出るから	2世帯	1人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	0世帯	0人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	1世帯	0人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	0世帯	0人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	0世帯	—
キ. その他	4世帯	1人
合計	15世帯	4人

・その他の主な意見

- 先生が目が行き届くから（中学校保護者3世帯）
 多様な人間関係の中で生活していく力を身につけていけるから（中学校教員1人）

◆分析

- ・保護者の問4の有効回答数3,564世帯(小学校保護者2,285世帯・中学校保護者1,279世帯)のうち、問5の有効回答数は3,438世帯(小学校保護者2,204世帯・中学校保護者1,234世帯)で、有効回答率は約96.5%(小学校保護者約96.5%・中学校保護者約96.5%)でした。
- ・教員の問3の有効回答数239人(小学校教員149人・中学校教員90人)のうち、問4の有効回答数は227人(小学校教員143人・中学校教員84人)で、有効回答率は約95.0%(小学校教員約96.0%・中学校教員約93.3%)でした。
- ・問4(教員アンケートでは問3)の回答として、小学校の保護者、教員ともに最も多かったイ【1学年2～3学級(1校で12～18学級)】を選択した理由としては、ア(クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから)が最も多くなりました。
- ・問4(教員アンケートでは問3)の回答として、中学校の保護者、教員ともに最も多かったウ【1学年4～6学級(1校で12～18学級)】を選択した理由としては、ア(クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから)が最も多くなりました。
- ・選択肢ごとの回答理由の集計でも、保護者、教員ともにア(クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから)が多くなっています。
- ・そして、問5(教員アンケートでは問4)の回答を単純に選択肢ごとに集計すると、以下のとおりとなり、やはりアが多くなっています。

	小学校		中学校	
	保護者	教員	保護者	教員
ア. クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから	1,332世帯	91人	712世帯	42人
イ. 学校全体に活気が出るから	213世帯	22人	213世帯	21人
ウ. 学校行事での活躍の場が多くなるから	79世帯	11人	47世帯	10人
エ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれるから	96世帯	7人	34世帯	2人
オ. 学年を越えた友達ができやすいから	71世帯	3人	22世帯	1人
カ. 自分の子どもの様子を見ていて、そう思うから	248世帯	—	130世帯	—
キ. その他	165世帯	9人	76世帯	8人
合計	2,204世帯	143人	1,234世帯	84人

- ・これらの結果から、保護者、教員とも、クラス替えができる一定の学級数があり、様々な個性を持つ友達と交流することを望んでいると考えられます。
- ・また、その他の記述意見としては、「先生が目が行き届く」という理由で学級規模を選択している保護者が非常に多く、保護者は、先生が一人一人の子どもをしっかりと見て指導してくれる事を望んでいることが伺えます。

- ・なお、問4の望ましい学級数をア「1学年1学級」と回答し、問5の理由をア「クラス替えがあり、様々な個性を持つ友達と触れ合い、互いの良さを認め合うことができるから」と回答することは、1学級ではクラス替えを行うことができないため、現実的ではありません。
- ・この組み合わせでの回答は、23世帯（小学校保護者11世帯・中学校保護者12世帯）であり、問4の有効回答数3,564世帯（小学校保護者2,285世帯・中学校保護者1,279世帯）に対する割合は約0.6%（小学校保護者約0.5%・中学校保護者約0.9%）となるため、問4及び問5の回答の信ぴょう性に影響はありません。